

## 報道関係者各位

水田の水位・ハウスのモニタリング・制御システム farmo

スマート農業に特化した(株) farmo は

**farmo 気象センサーで、さくらんぼ農家の遅霜被害対策を開始**

2005年11月1日に栃木県宇都宮市で発足したITベンチャー企業、株式会社 farmo はあらゆるモノがネットにつながる「IoT」を活用し、日本の農業をサポートする画期的な製品「farmo(ファーム)」を開発、栃木から日本全国展開中です。farmo は今年も農家さんをサポートする新しいチャレンジを進めて参ります。

**クラウド型気象センサーでリアルタイムの遅霜対策**

今年 4-5 月、栃木県北部、東北を中心に遅霜による被害が発生し、果樹農家を中心に大きな被害が出ています。(※遅霜とは、春先、冷え込む日が続いたことで降りてしまう季節外れの霜のこと)



この影響で果樹の雌しべが枯れてしまうなど、農作物への被害がでており、過去最大の88億円に上っていることが山形県の調べで明らかになっています。(栃木県ではりんご、福島ではもも、山形ではさくらんぼなど)

日々、農家さんと直接対話しながら製品開発を行っている(株) farmo では、遅霜被害に苦しむ農家さんのサポートをしたいと考え、farmo 気象センサーを開発し、農場に設置し、データを測定する実証実験を始めています。

farmo 気象センサーは、「気温・湿度・降雨量・照度・風速・風向・気圧」が計測でき、測りたい場所や目安にしたい場所に簡単に設置が出来るため、气象台から発表されるデータよりも、農家さんが知りたい、農場内の精度の高いデータを収集することができ、遅霜への対策が期待されます。

また、farmo 気象センサーを設置することにより、遠隔からでも知りたい場所の気象データを確認することができるため、労働時間、人的コストなどの課題にも対応できると考えています。今回は、大きな被害が発生した山形県のさくらんぼ農園に設置し、データの収集を行っています。農業の課題解決に取り組む(株) farmo にとって、チャレンジングな実証実験となります。

## ☞目標

遅霜被害に苦しむ果樹農家を救いたい。私共(株) farmo のスタッフとともに「ラク」に管理できるよう、農業の省力化を目指し取り組みます。

本件に関するお問い合わせ

株式会社 farmo(ファーム) <https://farmo.co.jp/> 広報・営業 田中 貴也・小平真季

〒320-0855 栃木県宇都宮市上欠町 866-1

TEL028-649-1740 携帯 : 070-4481-7081(田中) tanaka@farmo.co.jp kodaira@farmo.co.jp